

施設名	旧仲哀隧道								
所在地	福岡県 田川郡香春町								
管理者等	不明								
施設種類・分野	隧道								
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>仲哀隧道は、明治22年に筑豊地方と京築地方を結ぶ目的で造られた全長432mのトンネルである。赤煉瓦と切石で造られた入口を持ち、昭和4年に幅を3.6mから5mへと拡げたが、昭和42年に、その役目を国道201号新仲哀トンネルに譲り、現在は老朽化により通行止めとなっている。明治22年完成ということもあり、トンネルは素堀り。また、現在のポータルは昭和4年のもので、帯石が4本並ぶ特徴的なものだ。金辺隧道との類似性、題額の形も同じであると思われる。ルスチカ粗面石積み迫石が使われ、ポータル壁面はフランス積になっている。</p>								
築造時期	明治中期			時期詳細	明治22年				
関連人物	—								
関連企業	—								
トピックス (特徴的エピソード)	—								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産 (土木学会)	—	文化財 (文化庁)	登録有形文化財 (建造物)	近代化産業遺産 (経産省)	—	世界遺産 (ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	文献1:福岡県の土木遺産リスト(http://dobokuisan.qscpua2.com/search-list/srh_list_fukuoka/)((社)九州地域づくり協会作成)								
管理者等のHP (URL等)	—								



文献1より引用